

氏名 佐 藤 公 康

学位の種類 医 学 博 士

学位授与番号 乙 第 3 1 0 号

学位授与の日付 昭和43年 9 月30日

学位授与の要件 博士の学位論文提出者
(学位規則第 5 条第 2 項該当)

学位論文題目 胃潰瘍症の血液成分の変化に関する研究

論文審査委員 教授 小坂 淳夫 教授 平木 潔 教授 大藤 真

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

胃潰瘍症 286例の血液成分の変化を正常例、胃癌例と比較し推計学的検討を行った。胃潰瘍症では赤血球数、血色素量、Ht、血清ChE、鉄、アルブミン、糖蛋白アルブミンの減少及び白血球数、血清GPT、アミラーゼ、NPN、 α_2 、 β 、 γ -グロブリンの増加が有意に認められる。胃潰瘍手術例は胃潰瘍全例に比し血白素減少、ChE減少の有意である。長径2cm以上の大潰瘍例ではChE減少、NPN増加が有意である。胃癌例は胃潰瘍例に比し貧血が強くChE、鉄、蛋白、アルブミン、 γ -グロブリン、糖蛋白アルブミンの減少、AlPhの増加が有意であり胃潰瘍症の貧血、全身栄養状態不良、肝障害の程度は正常と胃癌の中間に位置する。大潰瘍例では胃癌以上に高度の変化を示す事もある。

岡山医学会雑誌第80巻7, 8号掲載予定

論文審査の結果の要旨

本研究は胃潰瘍症の病態生理を明らかにするために血液成分について、健康者を対照に検討したもので、未だ多数例について広範囲な研究がなされていない分野において新知見を得た価値ある業績を認める。よって本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。